

みやこ町森林ビジョン

【2024年3月策定】



《みやこ町森林ビジョン》

豊かな里山と水をいつまでも



みやこ町森林ビジョンに込めた想い

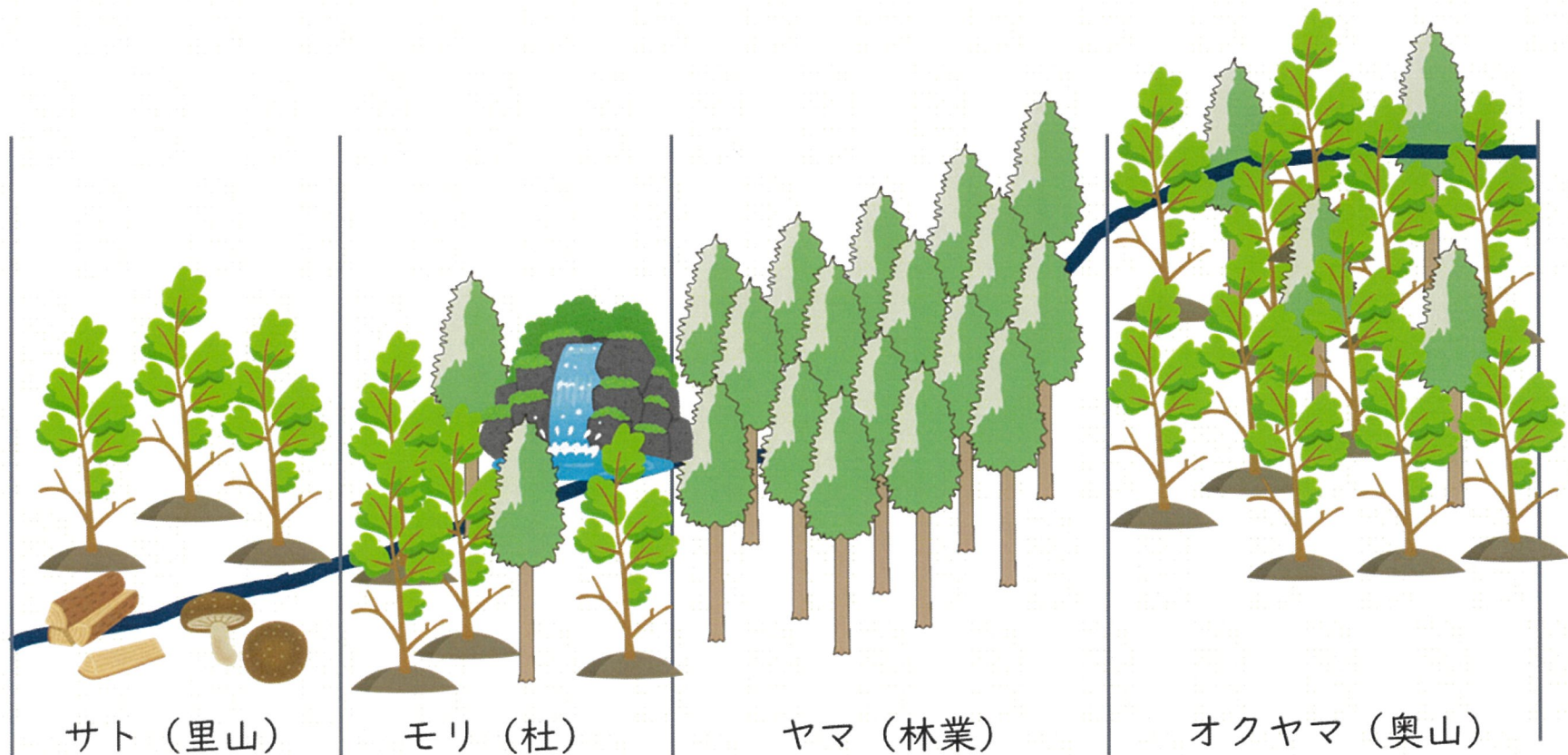
町内を南北に流れる祓川は、源流部に景勝地「蛇湊の滝」などの特徴的な景観を有し、ホタルが生息する美しい川です。また、平野部では今川や長峡川が、豊かな農業を支え、みやこ町の農村景観を生み出しています。

こうした美しい水は豊かな森林が育んでいます。みやこ町は元々小規模林業経営が中心で、町南部地域に広がる里山は、豊かな水や様々な恵みを育み、人々の生活を支えてきました。森林との関わりは過去から現在に至るまで脈々と受け継がれています。

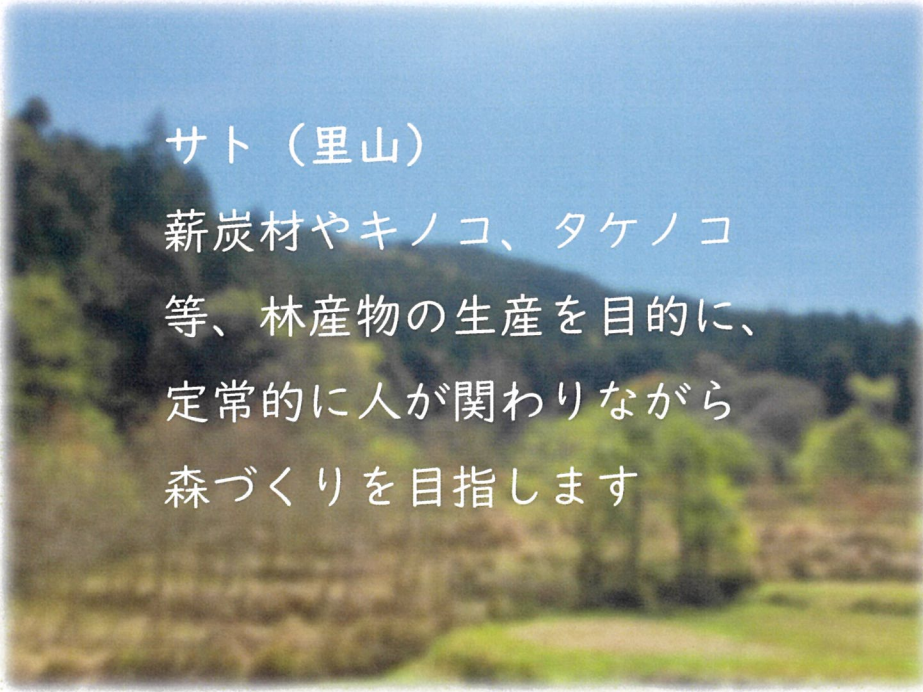
森林から得られる豊かな多くの恵みを後世に伝えるため、適切な森林の管理を行っていきます。

みやこ町森林ビジョン 推進方針

みやこ町には様々な地形や標高の森林があり、森林の性質も大きく異なります。そこで、森林を4つの区分に分類し、それぞれの森林に適した管理を行っていきます。

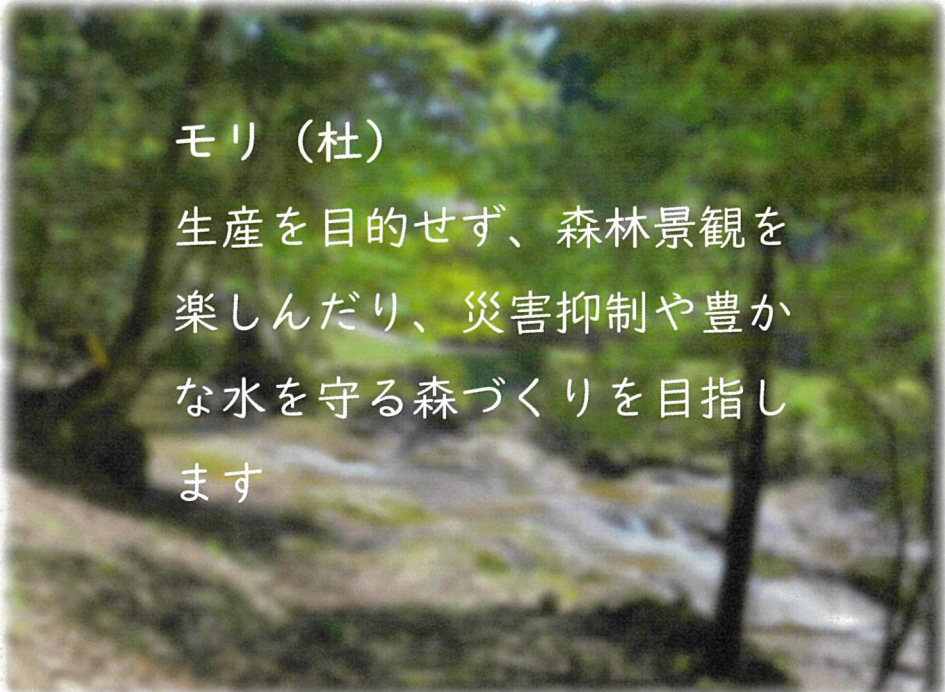


森林4区分のイメージ図



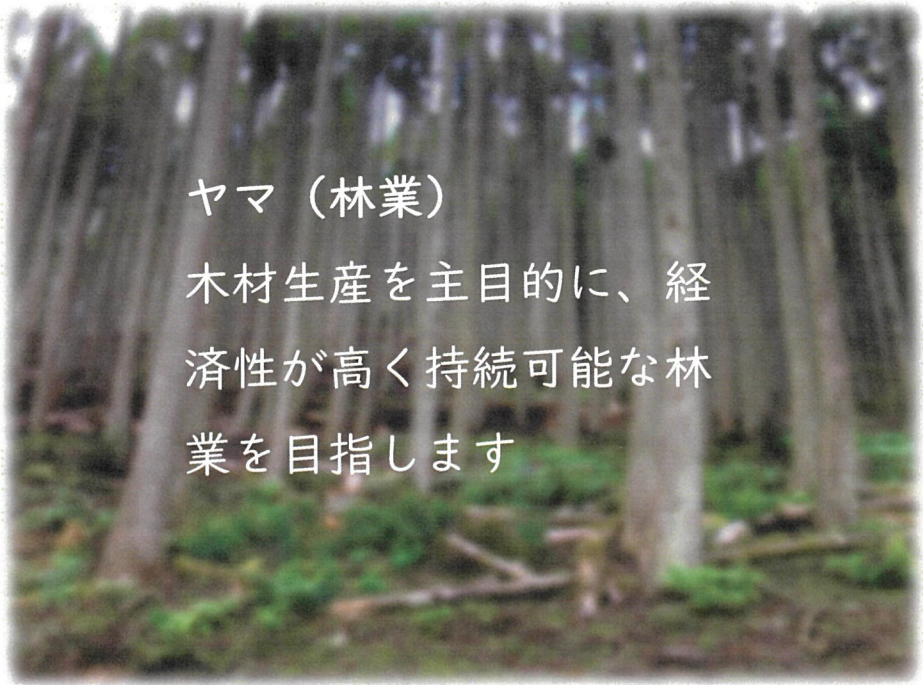
サト（里山）

薪炭材やキノコ、タケノコ等、林産物の生産を目的に、定常的に人が関わりながら森づくりを目指します



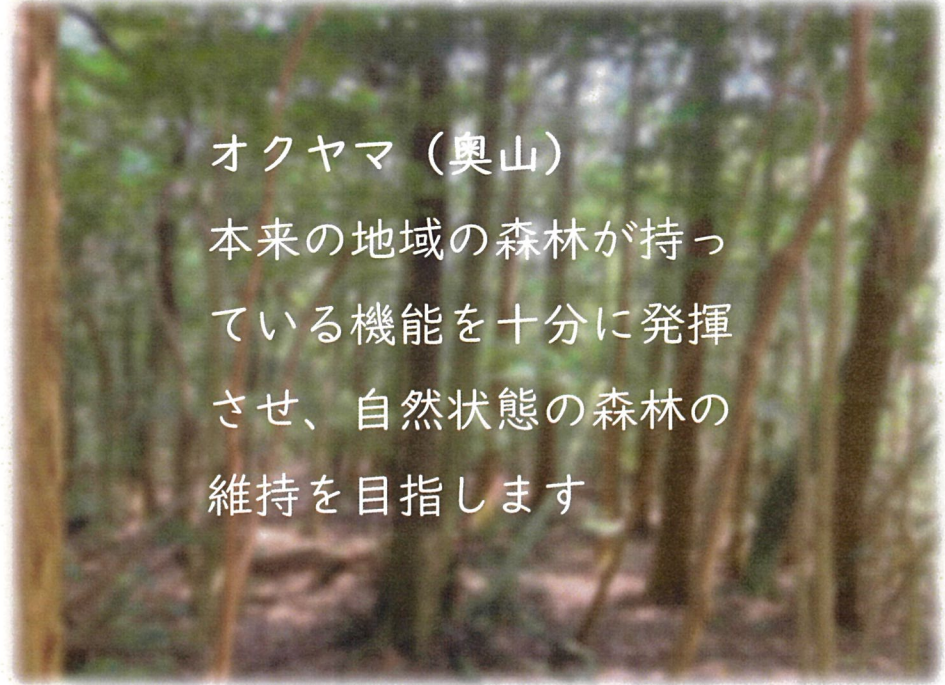
モリ（杜）

生産を目的せず、森林景観を楽しんだり、災害抑制や豊かな水を守る森づくりを目指します



ヤマ（林業）

木材生産を主目的に、経済性が高く持続可能な林業を目指します



オクヤマ（奥山）

本来の地域の森林が持っている機能を十分に発揮させ、自然状態の森林の維持を目指します